

ふるさとのたからもの
～「色でさがしてみよう！！！」

「地域の色・自分の色」研究会
大分県別府市立鶴見小学校
山崎 朱実

「色」に着目したふるさと探究

1. 地域資源の活用

(1) 別府の自然

源泉数・湧出量日本一

(2) 別府の歴史・文化

豊後風土記・古墳

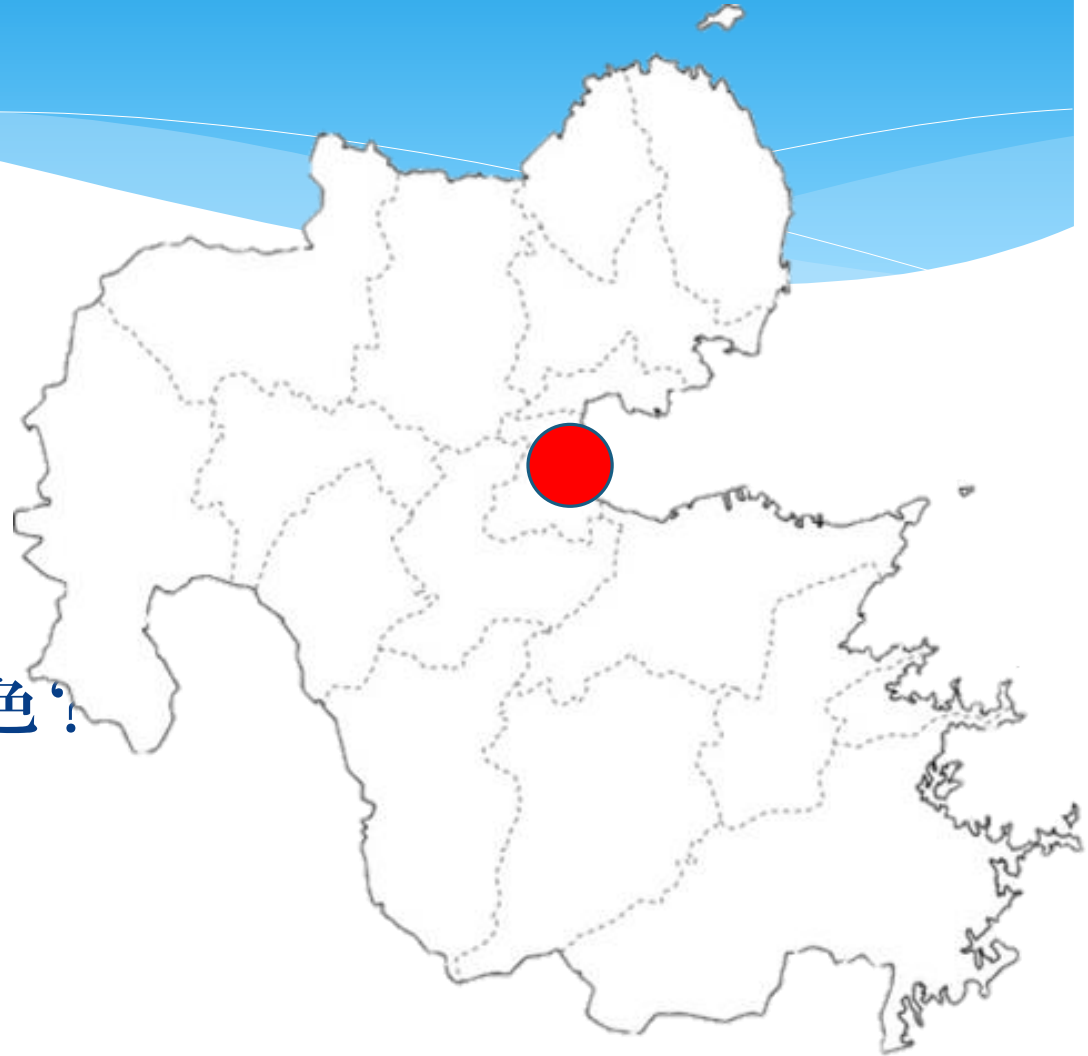
2. 教科横断

図画工作:きれいな色!どんな色?

理科:ふしぎ!なぜ?

社会:昔はどうだったの?

総合:ふるさとの魅力って?



別府には、温泉と地獄がある



別府の自慢は何かな。



別府には、火山のおかげで、
温泉とめずらしい地獄がある。



おすすめの地獄を調べてみよう。

「地獄にいきたいな。」

教材作成

ふるさとのたからもの

～「色」で、さがしてみよう!!!～

公益財団法人 前川財団助成事業

ふるさとのたからもの

～「色」で、さがしてみよう!!!～

別府（地こくめぐりから）



「地域の色・自分の色」研究会

（ちいさのいろ・じぶんいろのいろ）けんさくかい

監修 秋田喜代美

海地獄（うみじごく）

「鶴見岳（つるみだけ）」という火山の「ばくほつ」で生まれました。
この「海地獄」の中には、「赤いけ地獄」という「いけ」や「オオ オニバス」がういている「いけ」もあります。



血の池地獄（ちのいけじごく）

日本で、1ばん ふるいて「てんねん」の「地こく」です。
「どろ」は「くすり」にもなります。



ふるさとのたからもの

「地域の色・自分の色」研究会

- * 研究会と鶴見小学校が一緒に作成
- * 前川財団助成事業

ふるさとのたからものPDF

教材「ふるさとのたからもの」を使って、「色」を見つけや「かくれた色」を掘り起こし、自分だけのたからものを描きました。

授業のおおまかな流れ

地獄めぐりで

入浴剤が入ってる？



天然記念物！

地獄の色はどこからくるの？



地獄の色はなぜちがう？

血の池地獄
酸化鉄

調べ学習

海地獄
硫酸鉄

酸化鉄（ベンガラ）で



「染めてみたい」思ってたより濃いなD児

地獄の色はどこからくるの？



身近なものにも色がかくれている

「石を塗りたい」魔除け石だ、古墳の色だ。D児

伽藍岳の石で



石に隠れている色（顔料づくり）



草花に隠れている色（こすり染め）

ふるさとの宝物



「絆」「友しよう」D児

地獄へ行ったよ



海地獄の色は、入浴剤なのかな (C児)



天然記念物だから、入浴剤
じゃないよ。(D児)



調べてみよう。硫酸鉄の色だね。

血の池地獄は、どうして赤い色になるの。



iPadでしら
べてみよう。

赤い色は、酸化鉄の色だね。



硫酸鉄と酸化鉄をみてみたい。



血の池地獄の色で布をそめよう

地獄の色には原因があった。硫酸鉄と酸化鉄を見てみたい。

海地獄の色
にしている
な。



(海地獄 硫酸鉄)

赤茶色で、
血の池地獄
の色にいて
いる。



(血の池地獄 酸化鉄)

血の池地獄の色は酸化鉄で、ベンガラと呼ばれる顔料になる。その色で、布を染めてみたいな。

鉄の匂が
するな・



指につくと、
おちにくいな。



模様をつけて、布をそめたよ

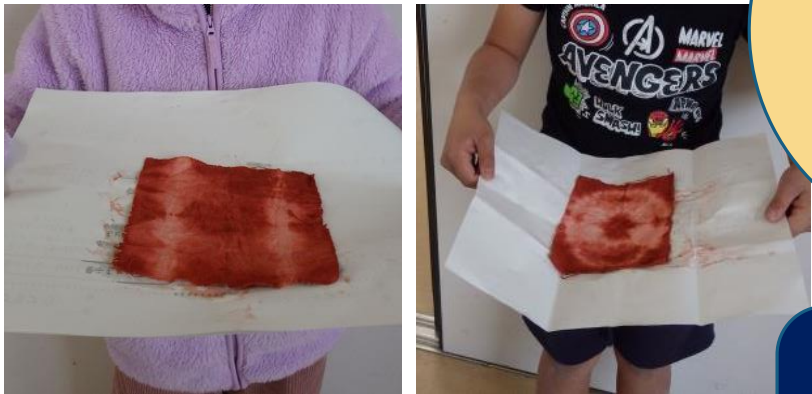
ゴムでしばると、模様ができた。

上手にできたよ。

ほくは家からゴム手袋を持ってきて準備万端。2枚染めて、好きなほうを作品にしたよ。ベンガラは、時間がたつと底に泥が沈むことにもきがついたよ。
(D児)

みんなの作品は、【3の1ギャラリー】に展示

ベンガラで布は染められた、
それじゃあ石もそめられるのか？



ベンガラは昔から使われていたらしい。

D児は、ベンガラは、別府の古墳の内部にぬられていたことや、別府湾の海に沈んだ瓜生島の伝説と関係があることを知った。そして、新たな疑問。ベンガラで石がぬれるのかな。

(「別府学」やyoutube「瓜生島とじぞうさま」の情報から、瓜生島伝説とベンガラが密接に関係あると考えた。)



赤く塗られた
鬼の岩屋古墳

まずは、
やってみよう。

情報がないときはiPadで調べる

石にぬられることがわかった。
あれ？瓜生島伝説と関係があるらしい。鬼の岩谷古墳の色にも、
にているよ。

あれ？ぬれるけど、かわいたら色がおちる。こまったな。

にかわを入れたら、色がおちにくくなるらしい。

この日のために、石を10個用意したよ。学校の石を塗ってみようだったけど、河原の石もつるつるなので、もってきた。ぬりやすいかな。(D児)



完成。名前をつけた石は、【3の1ギャラリー】に展示



魔除け・魔除け、古墳の色 (D児)

私たちのまわりには、自然の色がいっぱい (図工科)



全部学校にあった
植物だよ。
きれいに、できた。



学校内の植物
のこすりぞめ

伽藍岳の黄土での
絵具づくり



土をかき混ぜすぎるとよくないよね。上澄み液を濾過して、残ったものにのりをまぜて、絵具のできあがり。



図工の時間に身の回りのものから、色を取り出す学習をしました。自然の中にたくさんの色があることに気がきました。



2021/03/03 14:01

温泉や地獄は、火山の恵み。 それでは、別府石は？

ふるさとのたからもの～「色」で、さがしてみよう！！～
(以下テキスト)を読んでいたら、別府市には、鶴見山が爆発したときにできた、別府石があることを知った。私たちの周りにも、別府石があるのかな。さがしてみよう。



すごい。こんな
大きい別府石が
あった。



うわー。たく
さんあるよ。
みつけた。



京都大学名誉教授
竹村先生の鑑定

どんどん見つかる。
みつかったものが
別府石かどうか調
べてもらおう。

見つけたものほとんど
が別府石だ。
なぜ、こんなに、別府
石があるの。

火山の爆発が
あったから
鶴見山と伽藍岳

伽藍岳の石には、どんな色がかくれているのかな？

今も火山活動をしている伽藍岳をiPadの映像で見たときに、火口の周り草や木がなく石があることに気付いた。そして、テキストから伽藍岳の石を砕くと顔料になることに気づき、伽藍岳の石をくぐだいてみたくなった。



いろいろな石がある、好きな色の石を選んでみよう



まず、金槌で石を細かく砕いて。1人じゃむつかしい。手伝って！



砕いた粉をふるいます。



自分だけの色できあがり！さあ、色をぬろう！！

伽藍岳の石には どんな色がかくれている？

その時D児は・・・

同じ色の石を集める！
一番砕きにくい
赤い石をあえて
選ぶ。



「やった！」 「できた！」
満面の笑み

一番赤い粉ができた。見て見て。

金槌でひたすらに砕く、
休み時間も忘れて。

伽藍岳の石から取り出した絵具で 色をぬろう

友だちの色がきになるな

がんばって、たく
さん、顔料をつ
くったよ。



ぼくの作った色が、
いちばんきれい。

顔料から、簡単
に絵具ができた。
あれ、私の色と
ちがう。少し
ちょうだい。



みんなの色はどんな色？ みんなの色を集めたい！（D児）



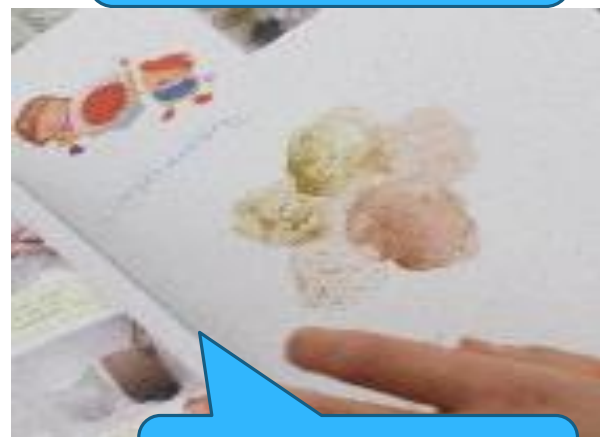
一色なんか
面白くない！



初めて出てきた色、
丁寧にぬろう

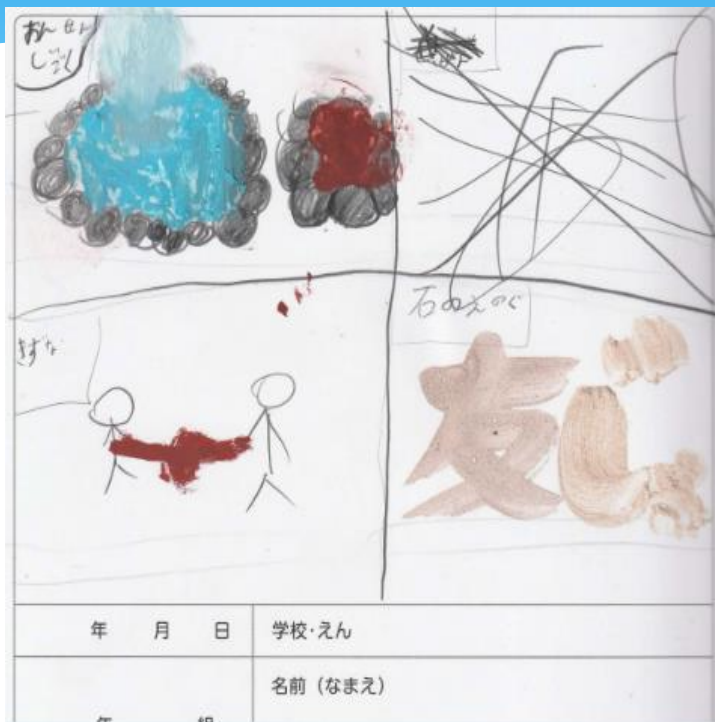


欲しい色は
友達からいただき！



やった！！完成！

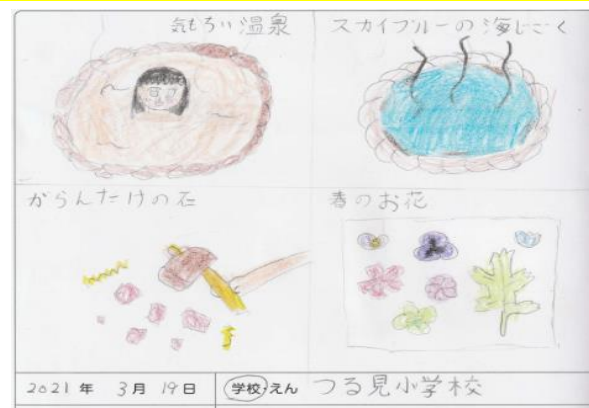
私のたからもの



【きずな・友じゃう】
D児が描いた「たからもの」。この学習を通して、学級や友だちとの新たな関係への気づきが生まれた。



黙々と自分が砕いた【伽藍岳の石】のスケッチをした。



この学習の過程を丁寧にまとめた。

子どもの学びからのひろがり

(参観日の保護者の声)

「地獄へ連れて行って」と言われて一緒に行了きました。

酸化鉄とかベンガラとか難しいことを言います。でも、とっても楽しそうなんです。

散歩の途中、一緒に別府石を探すようになりました。

子どもと一緒に別府のことをたくさん話しました。生まれ育った別府ですが、私もますます別府が好きになりました。



今後の展開

今年度は、血の池地獄の泥をいただき、3、4年生が布を染めたり、絵をかいたりして楽しみました。（6月）

そして、新たな疑問。

なぜ、血の池地獄の泥は血のにおいがするの。

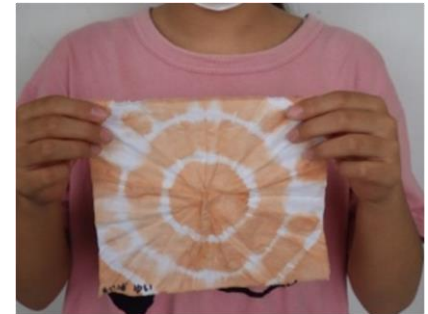
泥が、チョコレートみたいにトロトロなのは、なぜ。

泥が薬になるなんて、不思議。

血の池地獄の温泉で10円玉がとけるのはどうして…



疑問は、2学期へと続きます。



今年の3年生の作品
(血の池地獄の泥で描いた絵)

今後の展開

血の池地獄こども「色」博物館で展示



「地域の色・自分の色」研究会とは・・・

「色」という視点から、ふるさとの「大地」や「歴史・文化」を捉え直し、「ふるさとの宝物」を掘り起こし、10年後、20年後を見据えた「地域教育」と「地域振興」を模索

2014 4月 研究会発足

2017 11月 第66回読売教育賞最優秀賞受賞

2020 3月 日本児童教育振興財団【教育ビデオライブラリー】69

「自分の色をみつけよう」

2020 6月 「色から始まる探究学習」刊行

2020 10月 公益財団法人 前川財団助成事業

※山崎実践(教材作成と検証)

2021 3月 「ふるさとのたからもの」刊行

2021 7月 こども環境学会優秀ポスター発表賞受賞

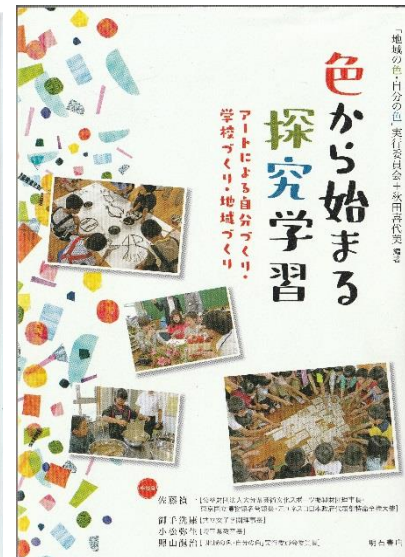
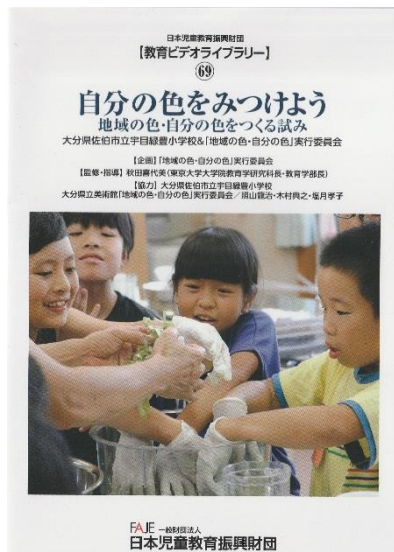


学習院大学教授秋田

幸野
木村

山崎

塩月
照山



ご清聴ありがとうございました。

「地域の色・自分の色」ホームページ



<https://museum.o-iro.jp>